

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0841	
施設名	北保育園	
施設所在地	国立市北3-1-1	
法人名	社会福祉法人国立保育会	
活動期間	令和7年12月から令和8年2月	
活動内容の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。	
	公表したホームページ等のURL	https://kunitachihoikukai.jp/kita/?cat=6

2. 活動報告（注1）

番号	1					
テーマ	野菜の不思議 < 3歳児 冬野菜 >					
実施回数・期間 (注2)	合計3回（内訳：12月2回、1月1回、2月1回） 令和7年12月から令和8年2月まで					
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
	人	人	人	15人	人	人
活動内容 (注3)	・土づくり、種まき、水やり、草取り、観察、収穫、調理					
活動における チェックリスト	<input checked="" type="checkbox"/> グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 実際に種を触り、固さやにおいを確かめ、意見を言う機会を設けた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 子供たちの言葉をメモで記録するとともに、活動の様子をタブレットを用いて写真にて記録した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 子供たちが自由に道具を使用したり、素材を選んだりしながら自分の興味に基づいて自由に活動できる環境を整えた。保育者は子供の主体性をもとに活動を展開し、見守ることを心掛けた。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 毎日の水やりや雑草抜きを行うことで、興味関心を深め、生長前の写真をもとに発見をするようにした。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 保護者に対しては、ドキュメンテーションやブログをもって探究活動の様子を周知した。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 活動中の子どもたちの反応や興味関心に着目し、図鑑を用いたり絵を描いて掲示することで、活動を発展させた。					

（注1）活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

（注2）「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

（注3）「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	66-0841
施設名	北保育園
施設所在地	国立市北3-1-1
法人名	社会福祉法人国立保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜の不思議 <3歳児 冬野菜 >

<テーマの設定理由>

3歳児ちゅうりっぷ組では、冬の土づくりや冬野菜の栽培をとおして生長過程での発見や野菜の不思議を体験し、食育につなげたり食への興味をもったりしてほしいと思い設定した。

2. 活動スケジュール

12月 土づくり、ほうれんそう・小松菜の種まき
1月～2月 水やり、観察、草取り

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・土・肥料・図鑑を用意し、興味や関心が深まるようにした。
- ・ガチャポンプ・バケツ・ジョウロを使って水やりをした。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・土づくりをする。
- ・ほうれんそう、小松菜の植ええをする。
- ・毎朝、畑へ行く機会をつくり、バケツを使って水やりや草取りをする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- ・じゃがいも栽培の体験から、大きくなるためには水と栄養のある土と太陽の光が必要だということを出しながら「毎日水やりをしないとね」と足を運んでいた。
- ・毎日ほうれん草と小松菜の世話をしながら観察をする。「昨日より少し大きくなってきたね」と変化に気づく。
- ・雑草が生え始め、ほうれん草と小松菜に栄養がいきにくいことを話すと、自ら気づいて抜く子がいた。
- ・今回は時期が遅れたこともあり、寒さで収穫まで行き届かなかった。「さむいからな?」「お水が足りなかったからかな?」「前みたいに暖かい時の方がいいかもね」と気づいたことを話していた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・毎日水やりを行い、冬野菜の生長を楽しみにする姿がみられた。
- ・夏野菜で体験したことを子どもと思い出しながら、一緒に栽培を楽しむことができた。
- ・今回は時期が遅れてしまい寒さもあったため収穫まで行き届かなかったが、体験をとおして気づくこともあった。